

## 地域情報

### イチゴ「ひのしずく」の先白果対策について

(一社) 熊本県野菜振興協会菊池支部

菊池市のイチゴ「ひのしずく」高設栽培では、1年目、2年目とも果実に先白果（主に果実の先端が白くなる：写真参照）が収穫期間全般を通して3割以上発生しました。

このため農業普及・振興課では、栽培土壌溶液の分析や施肥・灌水管理、生育調査などを行い、先白果の原因と対策について検討しました。

その結果、先白果発生の原因として、過剰なN施肥や草勢過多によりCaの吸収や果実への分配に支障が生じることにより細胞内の膜が損傷し、赤い色素であるアントシアニンが流出するためと推測されました。

このため3年目は、無肥料からスタートし石灰資材を定植直後から施用し草勢を抑えた結果、先白果の発生はほぼ皆無になりました。

農業普及・振興課では、今後も現地課題解決を行い生産の安定を図っていきます。



先白果